

令和五年度 校長室より(1) 国際交流編

しばらく校長通信を発信できず申し訳ありません。遅ればせながら1学期の生徒の活躍などをまとめて発信していきます。都立科学技術高校の魅力を様々な形でご紹介しますので、どうぞご覧ください。

○新3年生の3名がインド研修旅行に挑戦！

インド IB 校訪問 CAS 国際協力プログラム（主催：NPO 法人イマジナス）に、本校3年生3名が参加しました。期間は3月25日～4月2日、内容はトップ IB 校での授業におけるディスカッションや、村の学校の支援などです。参加した3名は1年次に本校の英語研修に参加し、その後も継続して本校の国際交流プログラムに参加していた生徒達です。3名が4月6日の始業式のあと、校長室に来て興奮冷めやらぬ様子で話してくれました。

主体的に申し込んだ生徒達の挑戦が、彼らの今後の人生の中できっと生きてくると感じました。



○フランス・パリ教育庁の視察団が科学技術高校を訪問！

4月25日（火）フランス・パリの視察団5名の先生方が本校を訪問されました。視察団の皆様はイル・ドウ＝フランス大学区長を始め、パリ国際交流・協力を代表する方々です。今回は東京→パリのオリンピック開催都市の連携に関することでの来日で、既に連携されている白鷗高校や忍岡高校に加えて日本の科学技術教育に高い興味関心があり、本校に教育委員会から要請があったという経緯でした。

本校の1年生の実験・実習を見学され、その後の協議では、科学技術分野の女性人材進出等が話題に挙がりました。写真はパソコン室での様子ですが、3分野の実験、1分野の金属加工の実習など興味深く見学されている姿が印象的でした。



校長 久保 剛